



どんぐり幼年消防クラブ

い思いを受け継ぎ、地域住民に最も身近な防災機関として、郷土繁栄と未来の安全安心のために更に精進を重ね、住民の期待に応えていきます」と決意を示しました。

続いて井上町長は「火災や事故、自然災害の様相は複雑多岐にわたっており、これからの災害から町民の生命、身体及び財産を守るためには、消防団員の果たす役割は今後ますます重要であり、置戸消防団の伝統と誇りを大切にして、さらに町民の信頼に応え、地域の安全・安心な町づくりに貢献してほしい」と挨拶しました。

表彰では置戸消防団幹部団員として尽力された方を代表して石井幸夫元置戸消防団団長と桑山隆前置戸消防団団長に消防功労表彰が贈られ、消防団の後援活動に尽力した置戸町防火推進連絡協議会と消防防火思想啓蒙活動に尽力した置戸町こどもセンターどんぐりのどんぐり幼年消防クラブに団体表彰が贈られました。特別表彰は置戸消防団の前身、置戸消防組の5代目組頭を父にもち、置戸消防100周年を記念して町に寄付を行った北見市の田丸月香さんに贈られました。この寄付を受け、分団旗と指揮旗を新調し、記念式典で披露されました。

祝賀会では鏡開きを行い、小川清人北見地区消防組合議会議長の乾杯の音頭で始まり、獅子舞保存会の獅子舞が祝賀ムードも盛り上げ、出席者全員で1世紀の節目を祝いました。



今年1月の消防出初式



表彰を受ける石井幸夫氏（左）と桑山隆氏



分団旗の授与



獅子舞が祝賀ムードを盛り上げました



益々の発展を願って出席者全員で万歳